

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1121008	声乐 (日本の伝統的な歌唱を含む。)(Vocal music II)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 栗栖 由美子 E-mail ykurisu@oita-u.ac.jp 内線 7617											
授業の概要	声乐で習得した能力にもとづき、中学校歌唱教材において、さらに高度な歌唱技術と専門的知識、歌唱指導法の習得を目指します。また、日本の伝統音楽における「声」についての理解を深めます。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。																
目標2	「荒城の月」と「ソーラン節」の範唱ができる。																
目標3	「荒城の月」における弾き歌いの技術を習得する。																
目標4	「荒城の月」における指導法を理解し、模擬授業ができる。																
目標5	日本の伝統的な「声」についての理解を深める。																
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	授業ガイダンス																
2	姿勢・呼吸法について																
3	発音について(母音と子音の扱い方)																
4	「荒城の月」について																
5	「荒城の月」における歌唱法(1)短調の響きのとらえ方																
6	「荒城の月」における歌唱法(2)フレーズのとらえ方																
7	「荒城の月」における歌唱法(3)歌詞の内容を生かした表現																
8	「荒城の月」を用いての弾き歌い																
9	「荒城の月」を用いての模擬授業																
10	日本の伝統音楽における「声」について(1)																
11	日本の伝統音楽における「声」について(2)西洋の発声法との違い																
12	日本の民謡について																
13	「ソーラン節」について																
14	「ソーラン節」における歌唱法																
15	「ソーラン節」を用いての模擬授業																
ラーニング	A:知識の定着・確認	教材研究、演奏発表、相互評価					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指定曲の事前練習・教材研究(15h)、模擬授業のための事前準備(5h)															
	事後	授業で扱った曲の復習(15h)															
教科書	教育芸術社『中学生の音楽1』、『中学生の音楽2・3上』、『中学生の音楽2・3下』																
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業への参加度(授業への取り組み、模擬授業、実技等)	40%															
	最終実技試験	60%															
注意事項	各自、発声練習をしてから受講してください。																
備考	・個人レッスンの形態をとりますが、毎回、公開レッスンとし、他学生の歌唱や弾き歌い、模擬授業に対して、コメントする時間を設けます。 ・歌唱技術のレベルによっては、曲目を変更する場合があります。また、早く進めた場合は、教材を追加します。																
リンク	URL																